

第4章 スポーツ

第1節 豊かな心身を育むスポーツの振興

1 スポーツ活動の促進

(1) 現状と課題

高齢化が急速に進む中で、健康・体力づくりへの関心が高まり、健康で生きがいのある生活を送るために、スポーツ・レクリエーション活動の充実が求められています。

本市では、生涯を通じてスポーツに親しむための、健康づくり事業やスポーツ教室の開催など、子どもから高齢者までスポーツに親しむ環境づくりやスポーツ団体の育成、スポーツ大会の開催を支援しています。

今後も、市民が生涯にわたってスポーツを続けられる安全で快適にスポーツ・レクリエーションを楽しむことができるよう、環境づくりを進めていくことが必要です。

(2) 課題解決のための推進方策

- スポーツに親しむための場の提供と情報発信
- スポーツ団体の育成と活動支援
- 各種スポーツ大会の開催支援
- スポーツ指導者の養成と確保

(3) 目標設定

- ◎ 推計人口に対する総合体育館における各種スポーツ教室への参加者数の割合

目標設定年度 2017年度(平成29年度)	中間年度 2023年度	目標年度 2028年度
47,063人(人口34,579人)	44,818人(人口32,477人)	42,899人(人口30,642人)
136.10%	138.00%	140.00%

※ 目標設定年度の人口は、年度末における住民基本台帳人口

※ 中間年度及び目標年度の人口は、国立社会保障・人口問題研究所の推計値(2018年(平成30年)推計)を基に算出

2 スポーツ施設の整備・充実

(1) 現状と課題

本市では、市民のスポーツ人口の拡大を図るため、総合体育館、パークゴルフ場、サッカー場等の各種スポーツ施設の整備を段階的に進め、多くの方が利用しています。

引き続き、より多くの方に利用していただけるよう、ホームページ等を活用し、利用促進に向けた様々な情報発信を行っていく必要があります。

また、市民が安全で快適にスポーツ・レクリエーションを楽しむことができるよう、施設の計画的な維持管理等を行っていくことも重要です。

(2) 課題解決のための推進方策

- 各施設の状況に応じた管理及び運営内容の充実
- 施設及び備品の修繕・更新計画の策定
- 指定管理者制度の推進とサービスの向上

(3) 目標設定

◎ 推計人口に対するスポーツ施設等*1の延べ利用者数の割合

目標設定年度 2017年度(平成29年度)	中間年度 2023年度	目標年度 2028年度
382,250人(人口34,579人)	360,170人(人口32,477人)	340,126人(人口30,642人)
1,105.44%	1,109.00%	1,110.00%

※ 目標設定年度の人口は、年度末における住民基本台帳人口

※ 中間年度及び目標年度の人口は、国立社会保障・人口問題研究所の推計値(2018年(平成30年)推計)を基に算出

*1 スポーツ施設等は、

- ① 総合体育館(温水プール・トレーニング室)
- ② B&G海洋センター
- ③ 武道館
- ④ 館山野球場
- ⑤ 関内パークゴルフ場
- ⑥ まなびの里パークゴルフ場
- ⑦ まなびの里サッカー場